

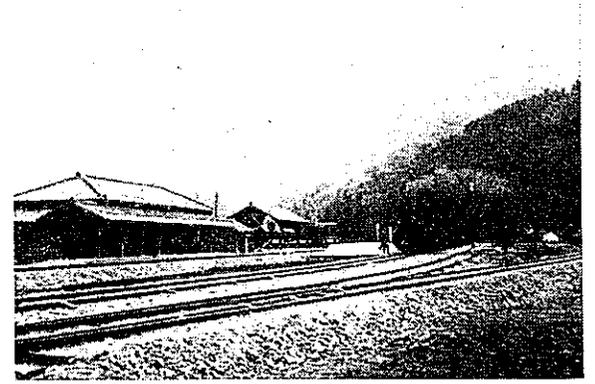
## (h) 交通

## 1 鉄道——徳島線の開通

明治二八年徳島県板野郡一条村、大串龍太郎ほか一九名は資本金八〇万円で、私鉄、徳島鉄道株式会社を設立し、徳島——川田間の鉄道敷設の願書を知事に上申し、明治三二年二月、県下における最初の鉄道である徳島鉄道徳島・鴨島間が開通した。

翌年、阿陽鉄道会社と協定し、同年一二月には、延長線として船戸までを開業したが、明治四〇年九月、徳島鉄道は鉄道国有法によって政府に買収され国鉄徳島線となった。国有後政府は、この徳島線を延長して、鉄道敷設法中の「香川県下琴平ヨリ高知県下高知ヲ経テ須崎ニ至ル鉄道」に接続させるため、川田・阿波池田間の官設を計画し、明治四四年五月実測に着手、翌四五年一月起工、二年有余を費やし、大正三年三月に竣工し阿波池田駅が設置

第二期 明治二十二年市町村制公布から大正二〇年郡制廃止まで



池田駅開業（大正3年）

された。このとき、起点附近の新線上に川田駅を新設し、従来の船戸駅を廃した。建設費は一五四万四六九五円であった。